

JENESYS2018 ASEAN 招へいプログラム第9陣の記録 国際ポエトリー交流(International Poetry Exchange Program) 対象国：フィリピン

1. プログラム概要

対日理解促進交流プログラム「JENESYS2018」の一環として、フィリピンより高校生及び引率者12名が2018年10月29日～11月4日の日程で来日し、11月1日に沖縄で開催された「国際ポエトリー交流(IPEP*)」(詩の交流)に参加しました。

一行は、米国、韓国、フィリピン及び日本の高校生と共に、詩を通じた交流を行いました。また、日本理解講義、戦争体験講義の聴講、平和記念資料館、地域の名所等の視察、伝統文化エイサーの体験、ホームステイなどを通じて幅広く日本を理解する機会を持ち、各々の関心事項や体験についてSNSを通じて对外発信を行いました。帰国前の報告会では、訪日経験を活かした帰国後のアクション・プラン(活動計画)について発表しました。

*IPEP=International Poetry Exchange Program

【参加国・人数】フィリピン12名

【訪問地】東京都、沖縄県

2. 日程

- 10月29日(月) 【来日】
- 10月30日(火) 【オリエンテーション】【文化視察】皇居、江戸東京博物館
【日本理解講義の聴講】SIMA 国際経営研究所 木村 秀夫氏
- 10月31日(水) 東京都から沖縄県へ移動
【文化視察】玉泉洞、琉球王国城下町
【文化体験】沖縄伝統芸能 エイサー
- 11月1日(木) 【学校交流】沖縄県立首里高等学校
【国際ポエトリー交流プログラム(IPEP)への参加】
- 11月2日(金) 【文化視察】首里城、平和祈念公園・沖縄県平和祈念資料館
【戦争体験講話の聴講】
【ホームステイ】沖縄県八重瀬町
- 11月3日(土) 【ホームステイ】
- 11月4日(日) 【ホームステイ】【地域住民・関係者との歓送会】
沖縄県から東京都へ移動
【学校交流】御殿場西高校生徒との交流
【ワークショップ(報告会準備)】
- 11月5日(月) 【文化視察】明治神宮、原宿、【成果報告会】
- 11月6日(火) 【文化視察】浅草寺、帰国

3. プログラム記録写真



10月30日【日本理解講義の聴講】



10月30日【文化視察】皇居



10月31日【文化体験】沖縄伝統芸能 エイサー



11月1日【学校交流】沖縄県立首里高等学校



11月1日【国際ポエトリー交流】



11月1日【国際ポエトリー交流】



11月2日【戦争体験講話の聴講】

	
11月4日【ワークショップ(報告会準備)】	11月4日【地域住民・関係者との歓送会】
	
11月5日【成果報告会】	11月6日【文化視察】浅草寺

4. 参加者の感想(抜粋)

フィリピン学生

講義は、沖縄戦などの視点から日本を理解できる素晴らしいものでした。「戦争は人間から始まる。平和を創造することは平和を実感することとは違う。」このような深い内容を知る機会は今までありませんでした。学校交流はチャレンジでした。しかし、言葉の違いはあっても、紅型体験や交流をとおして楽しい時間を持つことができました。詩の共有は信じられないほど素晴らしい機会でした。言葉を繋ぐことによって、今日、私たちが抱えている問題を解決できるでしょう。このようにして、次の世代を勇気づけることができると信じています。ホームステイも素晴らしい体験でした。日本文化や日本人の生活に触れることによって、日本文化に開眼しました。文化の違いは私たちの絆に影響を与えるものではありません。それは、異なる文化や生活を知るための扉なのです。

フィリピン学生

講義はあまり知られていない日本のことについて知ることができ、大変有益でした。私はずっと日本は自分たちでやっていける大変有能な国で、助けが必要な分野があるとは思っていませんでした。沖縄戦の話は視野を広げてくれて、異なる視点を与えてくれました。学校交流では、異なる国の学生が互いを理解するために一生懸命相手の文化を学ぼうとする姿勢が好きでした。日本政府への表敬ができて大変光栄でした。ホームステイは、本物の日本文化に浸ることができる素晴らしい体験でした。

フィリピン学生

講義は日本の歴史や文化など、私の知識を豊かにしてくれました。学校交流では、同年代の学生に会い、違いを知ることが興味深かったですし、10代の学生として共通点があることを知って嬉しかったです。日本政府への表敬ができたことは、人生で起こると思っていなかった経験であり、一生忘れません。ホストファミリーは本当に素晴らしい人たちでした。温かく迎えてくれて嬉しかったです。私の心の特別な場所にいつまでも居続けるでしょう。最後に、私の来日を可能にしてくれた全ての人々に感謝します。一期一会の出会いを、生涯大切にします。

5. 受入れ側の感想

◆ 日本人学生

今回、参加して本当に良かったと思いました。それぞれの国の表現、普段感じていることなど、お互いの様々な面を見ることができました。発表が終わり、お互いの詩を読んだ感想を話し合ったり、解説を聞いていると、本当に楽しくてもっと聞いてみたい、その人の国のことをもっと知りたいと思うようになりました。大変なことも多かったし、予想もつかないこともあったけれど、今までの私の考え方を変えてくれたこの交流は、これから多くの人びとにも参加してもらい、詩の楽しさや他国の人びととの交流の楽しさを知って欲しいです。

◆ 日本人学生

今回のポエトリー大会で、私は多くの国々と詩を通して関わることができました。その中で私が思ったのは、国が違えば言葉だけでなく考え方も違っていて、自分自身の思いを形に残るものにするのは難しいけれども、とても大切だということを学ぶことができました。言葉の壁はとても高くてすぐに私が克服できるようなものではなかったけれども、今回は色々な人びとが積極的で思わず乗ってしまうような雰囲気でも、とても楽しむことができました。また、楽しいコミュニケーションの場だったと思います。今後も詩を通して、色々な国の学生と交流の場を持てたらいいなと思っています。

ホストファミリー

進んで手伝いをしようという姿勢で何事にも取り組んでくれました。車の移動中、歌を歌っていて、打ち解けてくれている様子が分かり、よかったです。また、母国の家族に電話で紹介してくれて嬉しかったです。

ホストファミリー

訪日団の皆さんが、沖縄の家庭が楽しかったと、沖縄の家族と触れ合えてよかったと思っただけなのが嬉しいです。地域や家庭にとってもよい刺激になります。家族の一員となり、「パパ」、「ママ」と呼んでくれたのが嬉しいです。

6. 参加者の対外発信

 <p>「いいね！」 29件</p> <p>teriquijano Spent a whole day with a Japanese family and though I couldn't really understand much of what they were saying, it was still so much fun HAHAA #JENESYS2018 #IPEPJapan #Philippines</p> <p>5日前 · 翻訳を見る</p>	 <p>Yasmin Rodriguez-Nuguidさん 🙌びっくりした ...</p> <p>一 場所: Okinawa University</p> <p>木曜 日 21:21 · 那覇市 · 島</p> <p>A post that I just can't put off for another day from Day 3: We were introduced to the Eisa dance, a traditional Okinawa dance as a welcome to their ancestors' spirits who are believed to visit every August. We were awestruck by the performance, specifically taking note how the striking of the drum is a rhythmic and graceful dance as well. At the latter part of the dance, the young travel agent---an alumnus of Okinawa University and former member of this club---joined the performance. It was a breathtaking cultural experience that we all treasured on that day.</p> <p>👍❤️👍 32件</p> <p>コメント1件 再生244回</p>
<p>日本のホストファミリーと一日過ごししました。言葉の壁がありましたが、とても楽しかったです。</p>	<p>お盆に帰ってくる先祖の魂を迎える沖縄の伝統的な踊り、エイサー。太鼓の音と踊りに畏敬の念を覚えました。特筆すべきは、リズムカルなドラムの音と優雅な振りです。後半は沖縄大学の卒業生でエイサー部のメンバーだった旅行社の若い男性が飛び入りしました。息を呑む文化体験は、今日の大切な思い出です。</p>

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表

<p>IPEP Philippines</p> <p>Growing up in an Asian country with only a few stretches of sea separating us, we were raised learning about Japan in our classrooms. There is only so much we can learn about this country from our textbooks; but now we see that there is a difference between how other people describe Japanese culture and what you experience firsthand.</p> <p>We were able to see how hospitable and welcoming the Japanese people are. We were in awe every time we saw them lining up on the street to wave us goodbye. While staying with our host families, we saw how incredibly loving, respectful, and family oriented the Japanese are, so similar to us Filipinos. We enjoyed the authentic Japanese food full of emotions, the cultural performances especially the Eisa dance, which were so different from our own, and their own personal traditions that we will keep with us forever.</p> <p>Looking around, we see that society is rife with exclusivity. We've accustomed ourselves to closing each other off rather than "being the first to hold out our hands in friendship and forgiveness," much like what St. Benedict taught us, one of our school's patron saints. Realizing this, we must become the catalysts for positive change during times of conflict. Though these seem like grand ideas, we can always start with the simplest of actions to create a culture of peace. In bringing these lessons with us from experiencing Japan, we have come up with three ideas to share with our school. The first is to encourage an open and accepting environment by celebrating our vulnerabilities, to see less of an enemy in each other. Secondly, we will incorporate what we've learned in our classes to better understand the true stories of our circumstances. Lastly, we will include these lessons in club activities through peace-building centered projects. Through these, we aim to uphold a new era of peace and understanding for our time, and hopefully, the future.</p>	<p>プログラム経験を活かして、私たちの学校で、次の3つのことを実施します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.異なる環境、文化を持つ人々に心を開き、相互理解と友好を推進します。 2.私たちを取り巻く現状（戦争・平和）を理解することを促進します。 3.上記2点をクラブ活動に取り入れ、平和構築を中心とした計画を実施します。 <p>このような活動を通じて、より良き未来のために、平和と相互理解を促進し、私たちの新しい時代を打ち立てていきたいと思います。</p>
---	--